

えるのあ

2012

4 Apr

No. 41

北海道立女性プラザだより

目次

- 報告 子育てファミリー集まれ!!..... 1
- 年間イベントラインナップ..... 2
- ひとりで息抜きする時間..... 3
- インフォメーション..... 4



報告 子育てファミリー集まれ!!

お父さんの子育て応援講座 遊びの広場～お母さんといっしょ！

昨年初めて女性プラザが行った子育てファミリー向け事業のイクメン講座「お父さんの子育て応援講座」と子どもとお母さんも一緒に楽しめる「遊びの広場～お母さんといっしょ」を今年も開催しました。

2月25日の当日は、20組61名のご家族が参加し、女性プラザ交流フロアに、かわいらしい子どもたちの声があふれました。

男女平等参画を推進する上でも、少子化対策という観点からも、男性の育児参加が重要です。お父さんがもっと家族と一緒に過ごす時間を大切に、子どもを持つことのすばらしさを感じ、子育てを支援する仕組みや制度について理解を深めることはとても重要です。

北海道と共催で行った「お父さんの子育て応援講座」は、昨年養成された、FSN (Father's Supporters Network) JAPAN認定ファシリテーターから、父親の役割や仕事と子育てについて、グループワーク「助っ人マップづくり」やイメージワーク「積み木のワーク」などの講座を受けました。



お母さんと子どもは、木製おもちゃや絵本で遊びながら、専門のスタッフに子育ての悩みのアドバイスをもらったり、お母さん同士の情報交換の後は、頑張っているお父さんのために、アンパンマンのクッキー作りにチャレンジしたりと有意義な時間を過ごしていただけたかと思います。

今回の講座について参加者にアンケートを実施したので、その一部をご紹介します。

アンケートより

- 夫も楽しく講座をうけて来られたので家族全体で良い時間を持てました。お土産もありさらに嬉しかったです。育児は女がするものと疑いのなかった夫が、子供と共に育っていてくれるので嬉しいです。
- 男性は社交性が低い為、ごちさない雰囲気になりました。
- 父親としての悩みを他の参加者の方々と共有できたことが良かった。
「自分だけでなく皆同じ」と思うことが出来、考え方に余裕が持てるようになりました。
- 今までの家族との接し方を省みる良い機会になりました。
「次回」があるなら是非参加したいと思います。



発行／北海道立女性プラザ（指定管理者：公益財団法人北海道女性協会）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 6階 (011)251-6329・6349

【ホームページアドレス】<http://www.l-north.jp/>

（休館日：日曜・祝日・年末年始）（開館時間：月～金9:00～21:00、土9:00～17:00）＊お問い合わせは9:00～17:00にお願いします。



年間イベントラインナップ

4月

えるのすNO.41発行

5月

5/29～8/7
第1期女性大学

6月

6/26(火)
男女共同参画週間講演会
講師 梶井祥子(札幌大谷大学教授)
ナイトコンサート

7月

7/13(金)
カルチャーナイト協賛事業

9月

9/25～11/27
第2期女性大学

11月

12日～17日 「女性プラザ祭2012」
12日(月) オープニングコンサート
15日(木) 講演会
女も男もワイワイセッション
などメイン事業

1月

えるのすNO.42発行

冬

寒いころですが…
男性参画講座

その他、DVD上映会や他団体との共催事業（講演会）などを開催する予定です。
詳細が決まりましたら、ホームページやチラシなどで、ご案内させていただきます。

女性プラザ活用術

ステップ1 基本編

情報提供フロアを活用しよう！

読む

図書や資料を自由に読むことができます。
地域の男女平等参画情報誌や行政発行資料、新聞（5紙）などの閲覧もできます。

借りる

本を借りるには「利用者カード」が必要です。
免許証など身分を証明するものがあれば、即発行します。2週間2冊まで借りられます。

ビデオ・DVD

男女平等参画に関するビデオなど約400本が揃っています。ビデオブースでご覧になれます。
男女平等参画の無料研修会などには、着払いでの貸出も行っています。

ステップ2 応用編

ミーティングスペースを予約しちゃおう！

無料の会議用スペース

5～12名までのグループのミーティングにお使いいただけます。
朝9時から当日の予約ができます。

ステップ3 エキスパート編

交流フロアの展示コーナーやオープンスペースを借りちゃおう！

作品展示や研究発表

グループの活動展示、男女平等参画に関する研究発表などの場として、無料でスペースを貸出します。

昨年度開催の竹華書道会の小作品展の様子



ピックアップ図書 イクメン・カジダン・ワークライフバランス



なんちゃって育児休暇でパパ修行
成澤 廣修 主婦の友社



今日からはじめる男の家事
阿部 絢子 講談社



仕事と子育て 男たちのワークライフバランス
中岡真一・鷲尾梓 幻冬舎ルネッサンス



主夫3年生～働く嫁さんと主夫のぼくの、ほのぼの日常コミックエッセイ～
イクタケ マコト 彩図社

子育て中の妻が望むささやかな願いは…
「ひとりで息抜きする時間」

民間のベネッセコーポレーションが運営する、母親向けの通販サイト「Women's Mall」が行った調査で、「夫が日常的に行うと、最もうれしい妻に対するケア」という問いに、男性は「積極的に家事を行う」でしたが、女性は「ひとりで息抜きをする時間を作る」が1位でした。

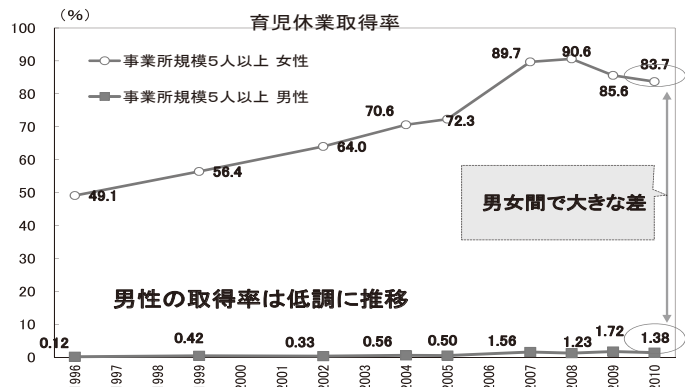
また、「男性にとっての男女共同参画」については内閣府においても、ホームページにサイトを新設し、その中で男性の育児参加などについてこれまでの調査結果を次の通りまとめています。（<http://www.gender.go.jp/>）

● 育児に参加したい男性は結構多い

両立支援制度の利用意向

	全体	男性	女性
調査数	1,553	752	801
育児休業制度	50.9%	31.8%	68.9%
育児のための 短時間勤務制度	48.9%	34.6%	62.3%

● 約3割は制度を利用する意向あり



- 厚生労働省「女性雇用管理基本調査」（2007年以降は厚生労働省「雇用均等基本調査」）により作成
- 数値は、調査年の前年度1年間に出生した者のうち、調査年10月1日までに育児休業を開始（申出）した者の割合
※ 事業所規模5人以上。

● 女性だって、家事だけじゃなく、働きたい
「男は仕事、女は家庭」について

● 平成16年調査で初めて反対（「反対」＋「どちらかといえば反対」）が賛成を上回り、19年調査では反対が5割を超えた。

● 男性は平成21年調査で初めて反対が賛成を上回った。

● 女性の方が「反対」と回答する人が多い。

賛成：反対

41：55

【平成21年10月調査】男女別

46：51 男性 平成21年10月調査 男性
37：59 女性 平成21年10月調査 女性

いくつ、知っているかな？

イクメン(育メン) カジダン(家事男)
イクジイ(育爺) ソフリエ(祖父リエ)

夫婦共働き世帯が片働き世帯数を上回り、保育施設の不足や経済情勢の変化により、介護や育児の担い手を女性のみでは担いきれない状況が生じ、周囲の意識変化が求められています。

イクメンは既に社会的認知度も高いと思いますが、イクメン＝子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと（厚生労働省 イクメンプロジェクトより）です。

カジダンは、家事に積極的な男性。

そして、孫の面倒を見るのは、かつてはおばあちゃん（イクバア）の専売特許のようなところがありましたが、イクジイ＝育児に積極的なおじいちゃん、ということで、長年外での仕事に力を注いで来た男性（特に団塊世代）が定年退職後、仕事に代わり「孫」をキッカケに家庭に目を向けるようになること、またはその人を育爺（イクジイ）と呼ぶそうで、そこから、「地域のイクジイ」として、子育て中の親の支援や孫世代の育成に力を注ぎ始める方もいらっしゃるようです。

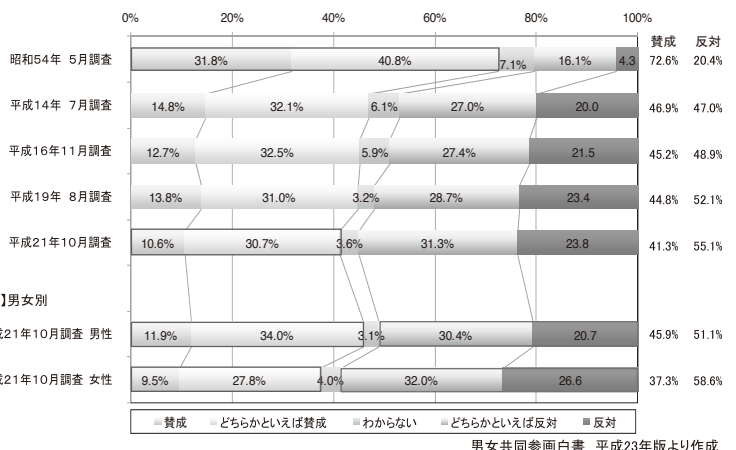
人生経験に基づいたおじいちゃんの言葉は貴重で、子どもの目を開かせてくれるともいわれています。

ソフリエは「祖父」と「ソムリエ」をかけ合わせた造語で、孫育てをきちんとできる祖父に与えられる資格で、東京・杉並区に本部のあるNPO法人のエガリテ大手前が認定しています。

現役時代は企業戦士で子育てに参加したことがなく、男子厨房に入らずとか、家事・育児は女の仕事という考え方だった男性が、赤ちゃんや子どもと関わっている姿は、ほのぼのと心があたたくなりませんか？



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について



男女共同参画週間講演会



日 時	平成24年6月26日(火) 10:00~12:00
会 場	かでの2・7 4階 大会議室
参加料	無料
定 員	200名

講 師 札幌大谷大学教授 梶井 祥子 さん
演 題 これからの男女平等社会
～子どもたちの未来を見つめて～

*参加を希望される方は、6月1日からお電話での受付を開始します。

男女共同参画パネル展

「男女間における暴力ーひとりで悩まないでー」

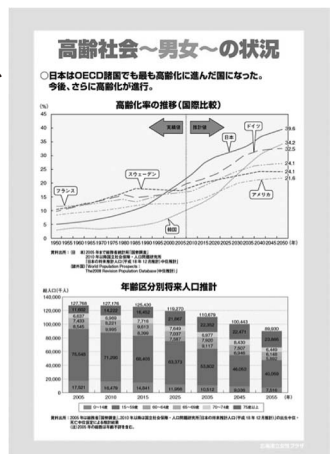
男女平等参画に関するパネルの貸出について

毎年女性プラザ祭の時に作成しているパネルを、地域での啓発活動などにお使いいただく場合、貸出を行っています。

男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動の期間に利用される方もいらっしゃると思います。

女性プラザホームページから平成15年度以降に作成したパネルをご覧になれますので、どんどんご活用ください。

平成23年度は「高齢社会～男女～の状況」として8枚作成しました。



(寸法 73.5cm×52.5cm)

女性プラザ運営協議会委員を公募します

女性の実践的活動拠点としての、女性プラザの機能充実とともに男女平等参画の推進を図るため、「女性プラザ運営協議会委員」を募集します。

・募集期間

平成24年4月23日(月)～平成24年5月23日(水)

*詳しくは、ホームページをご覧ください。女性プラザにお問い合わせください。

えるのす参画講演会(地域開催) 共催団体募集

女性協会では、男女平等参画についての講演会を道内5箇所で開催することとし、この事業を共催する団体を募集しています。

詳しくは女性プラザのホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

＝募集対象地域＝

渡島 後志 空知 留萌 宗谷 オホーツク 釧路
締切：平成24年5月10日(木)

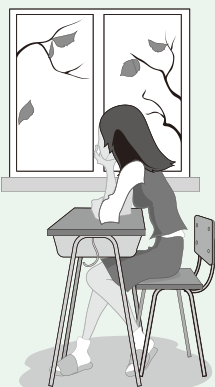
デートDV

配偶者やパートナーなど親密な関係にある人から、ふるわれる暴力のことをDVといいます。特に高校生や大学生などの若者間でふるわれる暴力のことを、「デートDV」と呼んでいます。

この年代は交際している相手をととても大切に思っていて、束縛や暴力までも愛だと勘違いしていたり、デートDVが起きていることさえ気づかない場合があります。

「別れればいいでしょ」と頭ごなしに言うことや、「愛されているからだよ」などの安易な言葉は、二度と相談しなくなったり、状況を悪くする場合があります。

まず大切なことは、一人で悩まないように。右に電話で相談できる専門機関をご紹介します。



配偶者暴力相談支援センター 相談時間：平日9時～17時(年末年始除く)

北海道立女性相談援助センター		011-666-9955	檜山	0139-52-5785
北海道道民生活課		011-221-6780	上川	0166-46-5081
総合振興局・振興局	空知	0126-25-5648	留萌	0164-43-0011
	石狩	011-232-4760	宗谷	0162-33-3399
	後志	0136-22-5838	オホーツク	0152-45-0500
	胆振	0143-22-5286	十勝	0155-26-9029
	日高	0146-22-2921	釧路	0154-41-1110
	渡島	0138-47-5789	根室	0153-24-5756

民間シェルター

		相談時間(平日)	
女のスペース・おん	札幌市	011-219-7011	10時～17時
ウイメンズネット函館	函館市	0138-33-2110	10時～17時
ウイメンズネット旭川	旭川市	0166-24-1388	11時～16時
ウイメンズネット・マサカーネ	室蘭市	0143-23-4443	10時～16時
駆け込みシェルターとかち	帯広市	0155-30-1919	14時～17時
ウイメンズ・きたみ	北見市	0157-24-7293	11時～17時
ウイメンズ結	苫小牧市	0144-32-0100	11時～16時
駆け込みシェルター釧路	釧路市	0154-32-7704	13時～16時

◎北海道立女性相談援助センターでは一時保護や法律相談なども行っています。また、休日及び夜間(17:30～20:00)にも電話相談を行っています。

今年度から、事業名を次の通り変更したので、お知らせいたします。

旧	新
女性のための教養講座 ～女性大学	えるのす連続講座～女性大学～(通称：女性大学)
教養講演会	えるのす参画講演会

- 「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。
- 「えるのす」は女性(Lady)の頭文字と北(North)の造語です。